

行政評価シート(事後評価)

コード (65) 6-5-2	事務事業名 施設維持管理事業(総合福祉センター、母子保健センター、中町分庁舎)	所管部課 市民部健康年金課(旧保健福祉部健康推進課)
-------------------	--	-------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	田無総合福祉センターは、市民の福祉と健康の増進及び福祉情報の提供並びに保健及び医療との連携を図る。また、母子保健センターは、市民の疾病予防、健康増進等保健衛生に関する事業を実施している。中町分庁舎は、休日診療所として、日曜日・祝日・年末年始における急患に対して、適切な初期救急医療を提供している。	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	清掃、警備、施設監視・各種機器・設備の保守点検等については委託により、維持管理を行っている。中町分庁舎については平成16年度から事業開始している。	
事業開始時期	合併前 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)		千円	109,508	89,633	106,416
財源	国庫支出金・都支出金					
内訳	地方債					
	その他 ()					
	一般財源		109,508	89,633	106,416	108,176
	所要人員(B)	人	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,666	1,637	1,632	1,632
	臨時職員等賃金(C')	千円	3,410	3,302	3,302	3,302
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	114,584	94,572	111,350	113,110
	単位当たりコスト					
	(E)=(D)/ (開館延べ日数)	日	137.7	109.7	127.7	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	開館延べ日数	実績値	日	832	862	872	
経年劣化の補修件数	実績値	件	12	9	11		
(指標の説明・数値変化の理由 など) は3館の延べ開館数							
一次	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	利用者延べ人数	実績値	人	32,931	29,322	36,417	
二次	医療等への貢献度	実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 利用者数については、高齢者福祉センターの利用は自由に利用できるため、人数の把握はしていない。障害者デイサービス利用者と母子保健センターと中町分庁舎の利用人数とする。(事務報告書より)						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	各種健診・予防接種、各種事業の拠点となっている。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	職員体制、委託状況、建物規模、清掃の回数(作業員の常駐等)施設の個数、設備機械等違うため比較算出は不可能
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

コード (65) 6-5-2	事務事業名 施設維持管理事業(総合福祉センター、母子保健センター、中町分行舎)	所管部課 市民部健康年金課(旧保健福祉部健康推進課)
-------------------	--	-------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	2		<p>事業の優先度(緊急性)</p> <p>事業の必要性</p> <p>事業主体の妥当性</p> <p>直接のサービスの相手方</p> <p>事業内容等の適切さ</p> <p>受益者負担の適切さ</p> <p>市民ニーズの把握</p>	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>各種施設で行われている事業は、市民の健康を維持し、継続させ健康で安心して暮らせる街づくりの拠点として、必要不可欠な施設となっている。</p> <p>施設によっては、職員の配置が無く利用状況や故障等の状況が伝わりにくく、管理運営に難がある。</p>
事業の必要性	2			<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	2			<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	2			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	2			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	2				

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	2		<p>事業の優先度(緊急性)</p> <p>事業の必要性</p> <p>事業主体の妥当性</p> <p>直接のサービスの相手方</p> <p>事業内容等の適切さ</p> <p>受益者負担の適切さ</p> <p>市民ニーズの把握</p>	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>施設維持管理経費については、毎年度、その妥当性について検証すべきである。</p> <p>また、(仮称)障害者センターの建設を検討する中で、総合福祉センターのあり方や母子保健事業や成人保健事業の運営方法について検討すべきである。</p>
事業の必要性	2			<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	2			<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	2			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	1			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	1				

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>施設の維持管理については、二次評価記載のとおり、委託内容や維持管理コストについて毎年度検証し、適切な維持管理に努められたい。また、(仮称)障害者福祉総合センターの検討に併せて、既存施設の機能のあり方についても検討されたい。</p>